

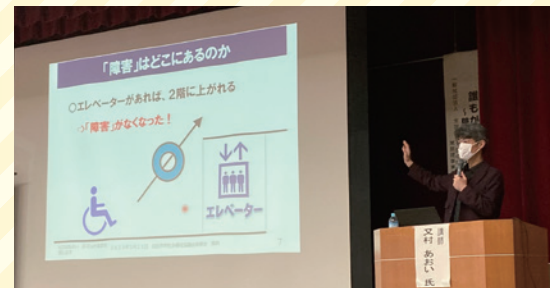
障害者福祉センター
からのお知らせ

WITH

～ウィズ・障害のある人と共に～

「合理的配慮」をみんなで考えよう

講師に又村あい氏を迎え、令和5年3月21日に障害者福祉講座「一緒に考えよう！誰もが参加しやすい社会となるために」を実施し、障害者差別解消法と合理的配慮を取り上げました。障害者差別解消法の制定から、令和5年で10年が経ちます。改めて、この法律と合理的配慮について考えました。



障害者差別解消法とは

- 障害のある人もない人も、お互いを理解・尊重して嫌な思いをせずに気持ちよく暮らすことができる地域の実現を目指す法律です。



合理的配慮とは

- 障害ゆえのバリア(社会的障壁)を取り除くための手助けのことです。
- 令和3年の改正障害者差別解消法では、公的機関に加え、民間事業者も合理的配慮の実施が義務化されました。(令和6年4月1日施行)

バリアを取り除くには

- 何がその人にとってバリアになっているのかは個別に違います。そのため、その人のバリアは何か、どんな配慮が必要か知るために対話が必要です。
- できる範囲で対応可能な代替案を考えることが重要です。

他人事ではない!?

バリアを感じる人は障害のある人だけではありません。バリアを感じる人・感じない人、それぞれがお互いを知ること、誰もが参加・生活しやすい社会が実現するのではないのでしょうか。



問い合わせ先 四日市市障害者福祉センター

TEL:354-8275 FAX:354-8426
E-mail:y-with@m3.cty-net.ne.jp

心あたたまるご寄付ありがとうございました。

- 梅本忠様 ● 小山高裕様 ● 八島益枝様 ● 北納屋町大師寺御詠歌講寒行出仕者一同様
- (公社)四日市市シルバー人材センター様 ● JSR株式会社 四日市工場様、新和薬品株式会社様
- 大師之寺中金剛講四日市支部様 ● 27期熟年大学OB会様 ● 三重北農協畜産部会様
- 三重北農協組合様 ● 三重県立四日市南高等学校 令和4年度卒業生有志様 ● 楽園倶楽部様

寄付者のメッセージ

四日市市シルバー人材センター様から

当組織は、高齢者の生きがいづくりや地域の活力のために活動しています。約1,300人の会員が経験を活かしなが幅広い分野で就業しています。

四日市市社会福祉協議会が取り組む「福祉のまちづくり」に役立てればとの思いで、四日市・エキサイトバザール出店売上の寄付を始めました。バザール中止の年でも、手作りマスクを寄付するなど、永年継続しています。これからも、高齢者や障害のある人が豊かに暮らせるよう、継続していく所存です。



ふ だ ん の く ら し を し あ わ せ に

社協だより

かけはし

2023年7月 第159号

(令和5年7月5日発行)

特集

四日市市社会福祉協議会は何をしているの？



介護予防体操

社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会

リニューアル初号

四日市市社会福祉協議会は何をしているの？

「誰もが安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくり」を進めています。福祉とは、「**ふ**だんの**く**らしを**し**あわせに」のことで。高齢者や障害のある人への在宅サービス提供の他、会費・寄付・共同募金などを財源とした、次のような活動をしています。

- 介護の不安がある・地域で自立して暮らしたい・生活が苦しいなど、暮らしに関する様々な相談を受け付け、福祉制度やサービスにつないでいます。



- サロンなど地域の人が気軽に立ち寄れる場の利用につなぐ、立ち上げを支援したりしています。
- 「既存の福祉制度やサービスでは解決できない困りごと」に対し、当事者の声を大切にしながら、解決に向けた仕組みづくりに取り組んでいます。



つなげる

みんなで支え合えるよう・だれひとり取り残さないように取り組んでいます。

支える

「困った」を「ほっとした」にするため、福祉の面から暮らしを支えています。



広げる

皆さんにとって、福祉がより身近なものになるように活動しています。



- 地域や学校での講座をととして、誰にでもやさしいまちや多様性について楽しみながら考える機会をつくっています。
- ユニバーサルスポーツを推進し、競技者・地域住民・ボランティア・学生・企業などの交流の輪を広げています。

職員募集情報

正規職員を募集しています。受験資格など、詳細はQRコードをご覧ください。



(7月受付開始)

四日市市社会福祉協議会の会計報告

■ 令和5年度予算 概要

項目	予算額
受託金収入	6億2,645万円
介護保険収入	1億8,602万円
障害福祉サービス収入	4,282万円
補助金・交付金収入	1億8,084万円
収益事業収入	3,123万円
共同募金配分金収入	2,916万円
会費・寄付金収入	820万円
その他の収入	2億4,186万円
合計	13億4,658万円

項目	予算額
介護保険関連事業	3億4,975万円
障害者関連施設等管理運営事業	3億7,684万円
地域福祉活動事業	3億4,016万円
高齢者・児童・母子・父子施設等管理運営事業	3,417万円
法人運営事業	1億9,159万円
その他の事業	5,407万円
合計	13億4,658万円

■ 令和4年度決算 概要

項目	決算額
受託金収入	6億1,454万円
介護保険収入	1億7,485万円
障害福祉サービス収入	3,606万円
補助金・交付金収入	1億7,418万円
収益事業収入	2,942万円
共同募金配分金収入	2,932万円
会費・寄付金収入	837万円
その他の収入	9,100万円
合計	11億5,774万円

項目	決算額
介護保険関連事業	3億878万円
障害者関連施設等管理運営事業	3億2,853万円
地域福祉活動事業	3億1,904万円
高齢者・児童・母子・父子施設等管理運営事業	1,984万円
法人運営事業	1億2,542万円
その他の事業	5,131万円
合計	11億5,292万円

※収支差額は次年度へ繰り越します

会費のご協力 ありがとうございます

皆様からご協力頂きました四日市市社会福祉協議会会費は、地域福祉推進のため、地域の福祉活動支援や福祉ボランティアのまちづくり事業などの財源に充てさせて頂きました。ご協力ありがとうございました。令和5年度も皆様のご協力をお願いいたします。

■ 1口あたりの会費額

一般会員	団体会員
個人・世帯	自治会・団体・施設・企業等
1口 500円(年額)	1口 500円以上(年額) ※自治会は原則1世帯15円

■ 税制優遇について

会費(寄付金)には**税制上の特典**があります

所得税 所得控除(寄付金控除) **法人税** 損金算入限度額あり

詳細は四日市市社会福祉協議会HPをご覧ください



受講生募集

ひとり親家庭のためのパソコン講座 無料

- 対象** 市内に在住・通勤されているひとり親家庭の親でパソコンのスキルを身につけたい人
今までに当講座を受講していない人
- 期間** 令和5年9月～令和6年2月(受講内容により異なります)
- 内容** 講師と相談の上、ご都合に合わせた個別指導で受講していただけます。

- 講師** 同教室長 福田久穂さん
- 定員** 5名(応募多数の場合は抽選)
- 申込締切** 令和5年7月21日(金)
- 場所** システム本舗えふ ディーデットステーション四日市教室(堀木2丁目)

問い合わせ先 四日市市母子・父子福祉センター TEL/FAX 354-8277 E-mail b-f.center@yokkaichi-shakyo.or.jp



視覚障害のある人のための講習会 無料

安全安心講習会

- 対象** 市内にお住まいで、視覚障害がある人
- 日時** 令和5年8月17日(木)午後
- 内容** 防犯・交通安全等の危機管理
- 場所** 視覚障害者福祉センター
- 定員** 20名

三療学術講習会

- 対象** 市内にお住まいで、視覚障害があり、はり・きゅう・マッサージを職業としている人
- 日時** 令和6年2月8日(木)午後
- 内容** はり・きゅう・マッサージの技術向上
- 場所** 視覚障害者福祉センター **定員** 20名

問い合わせ先 四日市視覚障害者福祉センター TEL354-5549

